

腎臓は体液の恒常性を維持する臓器であり、腎機能の障害から体液の量と質との異常がみられ、さまざまな生体機能が障害される。電解質・酸塩基平衡の維持は腎臓の根幹となる機能であり、透析治療の根幹にかかわる機能といえる。透析治療を扱う本誌において、近年、こうした透析にとって基本的な知識となる電解質・酸塩基平衡の維持について、意外にも特集が行われたことがなかった。今回の特集では基本に立ち返り、電解質の異常についてさまざまな方面から解説を行っていた。一部は透析の枠を超え、腎臓の機能にも踏み込んだ執筆をお願いした。

透析において電解質濃度・酸塩基平衡の調整にもっとも重要な役割を担っているのが、透析液の組成である。透析液の歴史を振り返ると、電解質だけではなく、腎不全に伴うさまざまな合併症に対する治療法の進歩と足並みをそろえて改良がなされてきた。とくに骨・ミネラル代謝異常への対

策は、透析液の電解質組成に大きな影響を与えている。

さらにディベートセッションとして、透析液のナトリウム濃度についての議論を試みた。結論としては、ナトリウム濃度においても、透析患者の個別性を考慮する必要がある、何を主たる目的として透析治療を行っていくのかを考慮することがより求められるようになってきている。また、将来を見据えた取り組みとして、電解質異常による生体反応をコンピュータの中に再現できるということもお示しいただいた。こうしたモデルによって、さまざまな検証を安全に行うことが可能となってきた。

透析患者の背景が大きく変化している昨今、本特集が、透析患者の電解質を考慮するうえで基本的な考え方についての方向性を示すことを願っている。

(花房規男)

2019年(Vol. 35)特集のご案内

- No.① 透析患者の糖尿病管理の新展開
No.② 透析患者における電解質・酸塩基平衡異常—透析液を含めて

- No. 3 慢性腎臓病の看護実践をリフレクションする
No. 4 透析患者の残腎機能

(既刊は○)

臨牀透析® Vol.35 No.2

© 2019年 2月 10日発行
定価：(本体 2,600円＋税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp

URL <http://www.nmckk.jp>

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY<出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話(03)3814-8541